

2014年4月3日
東日本旅客鉄道株式会社

英国の高速鉄道新線計画におけるコンサルティング契約の締結について

JR東日本グループは、「グループ経営構想 ～限りなき前進～」において、グローバル化など「新たな事業領域への挑戦」を掲げ、海外鉄道プロジェクトへの参画をめざして取り組んでいます。

現在、当社グループは、英国の高速鉄道新線計画“High Speed Two(HS2)”の推進主体であるHS2社(High Speed Two Ltd.)に対し、経営全般から技術面までを含む広範囲なコンサルティングを実施しております。

これは当社グループとして、初めての欧州との直接コンサルティング契約となります。

1 High Speed Two(HS2)プロジェクトの概要

2009年1月、英国運輸省が発表した高速鉄道新線計画です。計画は二期に分かれ、第一期では、ロンドンとバーミンガムを結ぶ区間(約220km)の建設を計画。第二期では、バーミンガムからマンチェスターとリーズの2方面にY字に分かれる区間(第二期開業後の総延長は約530km)の建設を計画しています。

第一期は、2017年に建設を開始し、2026年開業予定、第二期は、2030年頃開業予定です。

2 HS2社(High Speed Two Ltd.)について

英国運輸省が“High Speed Two(HS2)”計画発表と同時に設立した会社であり、HS2計画の推進主体です。

3 コンサルティング契約の概要

コンサルティングの業務内容(別紙)

トンネル微気圧波の対策

パンタグラフ騒音の対策

バラスト・スラブ軌道の比較

オペレーションとメンテナンスの信頼性に関する分析

設備のメンテナンス管理

駅の管理(旅客案内等)

コンサルティングの実施方法

上記の項目に基づき、レポートによる報告やHS2社と当社間のワークショップによる意見交換。

契約者

本契約は、当社グループの日本コンサルタンツ株式会社とHS2社との間で締結されました。

契約期間

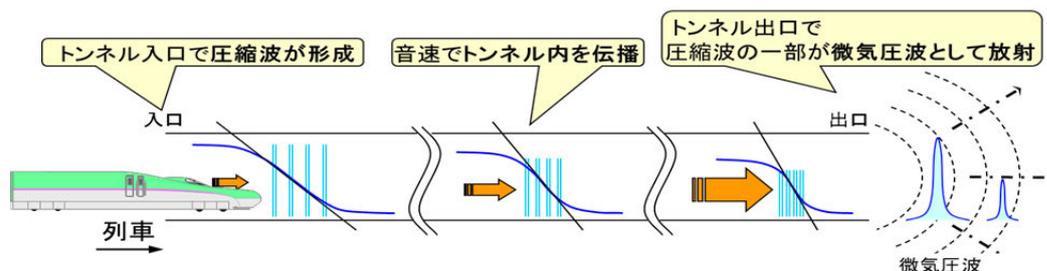
2014年1月31日～5月31日まで

【別紙】

本コンサルティングの概要

トンネル微気圧波の対策

- ・当社がこれまで開発してきた、微気圧波を低減させる手法に関するレポート



トンネル微気圧波: 高速列車がトンネルに突入すると、トンネル内に圧縮波が発生し、この圧縮波が音速でトンネル内を伝播し、トンネル出口に到達した時に発破音や振動などの環境問題を発生させる現象

パンタグラフ騒音の対策

- ・新幹線車両の騒音源の解析手法及びパンタグラフより発生する騒音を低減させる手法に関するレポート



低騒音シングルアームパンタグラフ

バラスト・スラブ軌道の比較

- ・バラスト軌道とスラブ軌道の維持管理方法及び建設・メンテナンス費用の比較に関するレポート



バラスト軌道

路盤とレールの間にバラスト(砕石・砂利)を敷き、枕木で支持する構造



スラブ軌道

コンクリート路盤上にスラブ(コンクリート製平板)を設置し、その上にレールを敷く構造

オペレーションとメンテナンスの信頼性に関する分析

- ・新幹線の信頼性・安定性・安全性を向上させる取組みに関するレポート

設備のメンテナンス管理

- ・軌道、トンネル、電車線などの検査手法及びメンテナンス作業方法に関するレポート

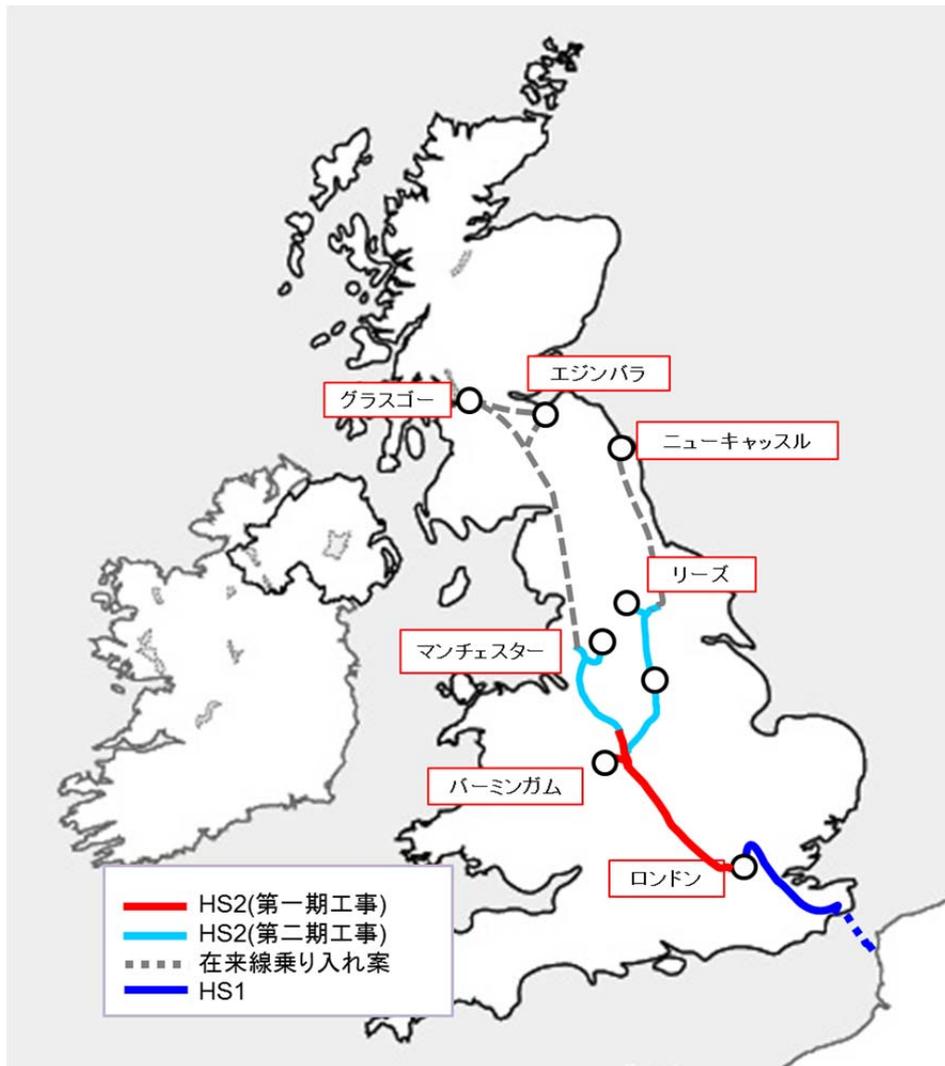
駅の管理

- ・駅におけるお客さま案内及び駅・列車内における案内表示とICTの活用に関するレポート

【参考】

HS2 の概要

- ・最高速度: 設計最高速度は 400km/h、営業最高速度は 360km/h
- ・列車本数: 第一期開業時は毎時 14 本、第二期開業時は毎時 18 本
- ・編 成 長: 400m
- ・建 設 費: 426 億ポンド(7.24 兆円)(換算レート: 1 ポンド = 170 円)
予備費 144 億ポンド(2.45 兆円)を含む
- ・在来線との直通運転: マンチェスター及びリーズ以北は、それぞれ在来線の西海岸本線(West Coast Main Line)ならびに東海岸本線(East Coast Main Line)に乗り入れる計画



HS2 社の概要

- ・設 立: 英国運輸省が 2009 年 1 月に設立
- ・所 在 地: 英国 ロンドン
- ・代 表 者: Alison Munro Chief Executive